

苦手意識を自信に変え、コミュニケーションを円滑にするための

説明力強化 トレーニングセミナー

参加対象

- 説明するのが苦手な方や、得意でないと感じている方
- 簡潔な説明の仕方や、説明の整理法を学びたい方
- 上司や関係部署などに対して、より円滑なコミュニケーションを図りたい方

本セミナーのねらい

- 1 “伝えること”と“伝わること”の違いを認識・理解します。
- 2 自分の“説明”の仕方について、特徴や課題を把握・認識します。
- 3 “わかりやすく”・“簡潔に”・“印象深く”、相手に伝わる説明の技術を習得します。

特長

- 1 演習中心に構成されたプログラムです。実際に自分で課題に取り組み、実践することで“分かりやすい説明の仕方”のポイントを学びます。
- 2 “説明”の専門家である講師からたくさんのフィードバックを得られるので、多くの“気づき”を得られます。
- 3 他の参加者の説明の仕方を聴くことで、更に多くの“新たな気づき”や“新たな学び”を得ることが出来ます。

プログラム

10:00～17:00＜昼食時間 12:00～13:00＞

1日目

1. 今なぜ説明力か？

- ・説明力が求められる背景
- ・説明とは
- ・コミュニケーションの目的と機能

実習① 伝達ゲーム

2. 説明の基本となる考え方

- ・伝わらないことを前提とした関わり方
- ・相手の価値観を大切に
- ・聞かれ方を考えて発信する

実習② ペア・ワーク：聞いてもらう状況を整える

◇聞けなければ話せない ◇聞き方の改善トレーニング

3. 内容構成のポイント

- ・聞き手の知りたがる順序
- ・構成5つのポイント

実習③ 2分間説明トレーニング「私のこだわり」

◇聞かれ方を考えて話す

4. わかりやすい説明 6つのテクニック

実習④ 3分間説明トレーニング

「最もやりがいを感じた仕事とは」

◇意見交換とコメント

5. 説明の効果を上げる

- ・わかりやすさと理論的な話し方
- ・情報とわかりやすさは反比例
- ・強調のスキル

実習⑤ 3分間説明トレーニング

「～を相手に○○の大切さをわからせる」

◇意見交換とコメント

2日目

5. 説明の効果を上げる（続き）

- ・言葉の力とその限界
- ・言葉の抽象性

実習⑤ 具体例を使って説明する

「印象(心)に残った○○」

◇討議

：具体例を使う際のポイント

◇グループ代表による発表 ◇講師コメント

6. 説明における言葉の役割

- ・言葉の力とその限界
- ・言葉の抽象性

実習⑥ 具体例を使って説明する

「印象(心)に残った○○」

◇討議

：具体例を使う際のポイント

◇グループ代表による発表 ◇講師コメント

7. 説明をわかりやすくする具体例

- ・説明における具体例の種類と生かし方

実習⑦ 5分間説明トレーニング

「前日課題：○○の提案」

◇説明から説得へ ◇相互評価用紙記入

8. 説明は双方向のコミュニケーション

- ・反応を確かめる
- ・質問の受け方・答え方

実習⑧ レビュー

◇日常で説明力をどのように磨くか ◇1分間で発表

9. 総括講義

※プログラムは変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。

開催日時

2025年 6月26日(木)～27日(金)

2025年 9月 2日(火)～ 3日(水)

2025年 11月12日(水)～13日(木)

2026年 2月19日(木)～20日(金)

[時間] 10:00～17:00

会場 AP大阪梅田東 (大阪市北区梅田)

講師 (敬称略)

櫻井 弘 株式会社 話し方研究所 顧問

参加料
(税込)

●法人会員…115,500円/1名

●会員外…143,000円/1名

